
週刊アフリカビジネス第 326 号

2016/12/26 発行

AFRICA BUSINESS PARTNERS
アフリカビジネスパートナーズ(ABP)

【今週のアフリカビジネス】

コカ・コーラ社が AB インベブから、AB インベブが SAB ミラーの買収によって得たアフリカ最大のボトラーである南アフリカの Coca-Cola Beverages Africa (CCBA) の株式 54.5% を、31 億 5,000 ドルで買い取ることで合意しました。CCBA は、南部アフリカから東アフリカにかけての地域の最大のボトラーであった Coca-Cola Sabco と、コカ・コーラ社 (11.3%) と SAB ミラー (57%) による合弁会社で、アフリカにおけるコカ・コーラの売上の 40% を占める巨大ボトラーの誕生として話題になりましたが、世界のビール大手同士の取引となった AB インベブによる SAB ミラーの買収が 10 月に完了したことで、AB インベブが主要株主となっていました。

AB インベブは中南米においてペプシコ社のボトラーであること、またコカ・コーラ社の買収を狙っているとされていることから、AB インベブが CCBA の株を保有することをコカ・コーラ社が嫌気したと言われています。2016 年 10 月 17 日発行の週刊アフリカビジネス 316 号においてコカ・コーラ社のチェンジオブコントロール条項を行使しての買い取り意思について取り上げましたが、2 カ月強で合意にこぎつけるというクイックな対応です。もっとも、CCBA は 10 カ国に渡り事業を行っているため、これから各国の当局による承認作業が待っており、買収完了の目標は 2017 年中となっています。また、コカ・コーラ社が CCBA の主要株主でいるのは、引き受け手となるフランチャイズ企業が見つかるまでとしています。

AB インベブ側からみれば、SAB ミラー買収によってアフリカでの拠点を得たものの、主要ソフトドリンク商品は手に入らず、ビールなどアルコール中心の出発となることを意味します。

原油安に伴い世界の資源メジャーは資産の売却を急ピッチで進めています。ロイヤル・ダッチ・シェルも上流の権益開発に集中し、石油の精製や販売といった中・下流を中心に売却を進めており、今回アフリカでシェル製品を取り扱ってきた販売合弁会社、Vivo Energy の持株全てを手放すこととなりました。合弁相手の 1 社である石油商社ヴィトルへ売却します。2018 年までに 300 億ドルの資産売却を予定している中での一環です。

ロイヤル・ダッチ・シェルは、今月になってからだけでも、マレーシアの製油所の持株 51% を売却

し、オーストラリアの航空機燃料事業をヴィトルの子会社である Vivo Energy Australia に売却しています。日本でも 12 月 19 日、昭和シェル石油の株式のうち 31.2%を出光興産へと売却しました。当初予定ではこれをもって筆頭株主となった出光興産が昭和シェル石油を合併することになっていましたが、こちらは 33.92%を持つ昭和シェル石油創業家の反対や資本提携の検討などさまざまな状況によりまだ決着がついていません。

インドの財閥ゴドレジの消費財メーカー、Godrej Consumer Products が、今年 3 回目となるケニア企業への投資を行いました。今回はもともと 51%を保有していた Charm Industries の完全子会社化です。Charm Industries は ALIYANA のブランドで知られる、シャンプー、コンディショナー、オイル、頭皮ケアなど高級ヘアケア製品を持つメーカー。2 月には洗剤やベビー用品を製造販売する Canon Industries の株式 75%を取得しています。

Godrej Consumer Products は 2011 年、アフリカ 14 カ国で Darling や Amigo といったトップシェアブランドを持つヘアエクステンション(つけ毛)製造・販売企業 Darling Group Holdings の株式 51%を取得しました。それ以降、アフリカ各国で Darling のグループ会社の買収を加速しています。ケニアにおける今年のもう一つの投資は、ケニアで Darling を製造販売する Style Industries のモーリシャス法人への持分 90%への引き上げです。

Godrej のアフリカにおけるビジネスについては、今月の特集として取り上げます。

目次

【今月の特集：インドの消費財企業 Godrej のアフリカ戦略】	5
【今週のニュース 20 本】	12
(1) 【アフリカ全域】コカ・コーラ社が AB インベブによる SAB ミラーの買収に伴い、アフリカ最大のボトラーCCBA の持分 54.5%を 31 億 5 千ドルで買い取り(12/21)	12
(2) 【アフリカ全般】ロイヤル・ダッチ・シェルが資産売却の一環でアフリカの販売合弁会社 Vivo Energy の全持ち株を売却(12/24)	12
(3) 【ケニア】インドの消費財企業 Godrej Consumer Products が、ケニアのヘアケア製品メーカー Charm Industries Ltd を完全子会社化(12/20)	13
(4) 【南アフリカ】南アフリカの医療グループ Life Healthcare が、新株予約権無償割当により 107 億ランドの調達を計画(12/20)	13
(5) 【ケニア】プライベートエクイティ Leapfrog がマジョリティを持つケニアの医薬品チェーン Goodlife Pharmacy が、同業の Dan Pharmacie を買収し店舗網拡大へ(12/18)	14
(6) 【ルワンダ】ルワンダ政府とフォルクスワーゲンが、ルワンダで自動車組み立て工場を建設することで合意予定(12/21)	14
(7) 【エチオピア】エチオピア政府が原子力発電所の導入を検討(12/16)	15
(8) 【エチオピア】エチオピアで 15 億ユーロを投じた水力発電所が開所し、合計発電容量が倍増(12/19)	15
(9) 【南アフリカ】アルセロールミタルが Evraz Highveld Steel & Vanadium の子会社 HSM に重構造用鋼材原料厚板等を供給することで合意(12/22)	15
(10) 【アフリカ全般、ザンビア、コンゴ民】銅価格が再上昇し、2015 年 6 月以来となる最高値を記録(12/20)	16
(11) 【南アフリカ】南アフリカ国営通信会社 Telkom が、子会社 2 社に計 11 億ランドの資金支援へ(12/19)	16
(12) 【モロッコ】イスラム開発銀行と複数のモロッコ政府がモロッコ高速鉄道 TGV に 9 億 8,000 万ディルハムを融資(12/19)	17
(13) 【トーゴ】アフリカ開発銀行を始めとする機関が西アフリカ地域の回廊整備計画のうち、トーゴ国内の 30km 区間に融資(12/21)	17
(14) 【ケニア】モンバサ港で初のクルーズ船向けターミナルの建設が開始へ(12/17)	18
(15) 【セネガル】フランス政府がセネガルの首都と新空港をつなぐ高速鉄道事業に 1 億 9,500 万ユーロを融資へ(12/21)	18
(16) 【東アフリカ】穀物及び豆取引市場 G-soko が、オープンから 2 ヶ月で、30 万ドルが取引される(12/17)	19
(17) 【ケニア】ケニアのウフル大統領が、政府省庁に対して現地組み立ての車両を購入するように促す(12/22)	19
(18) 【ケニア、ルワンダ】スーパーマーケットのナクマツ がルワンダに 3 店舗目をオープン	

(12/18) 19

(19) 【東アフリカ】東アフリカ共同体が、2017 年 3 月までに Tripartite Free Trade Area (TFTA)を批准する見込み(12/20)20

(20) 【セネガル】セネガル政府が同国西部に農産品加工工場の建設を計画(12/22)20

【今月の特集:インドの消費財企業 Godrej のアフリカ戦略】

今月は、アフリカの消費財企業を積極的に買収している、インドのゴドレジ財閥のうちの1社、Godrej Consumer Products を取り上げます。今週のニュースでは、ケニアにおける今年3件目の投資を取り上げました。また、Godrej Consumer Products は、週刊アフリカビジネス 324号(2016年12月12日号)で取り上げたロート製薬の新商品分野であるヘアケア製品において競合となる企業です。

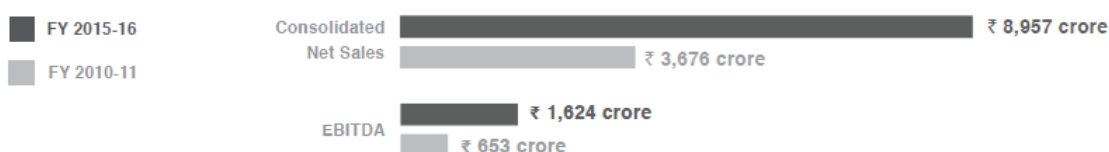
1. Godrej Consumer Products の概要

1897年に Ardeshir Godrej 氏が創業したインドのパルーシー系中堅財閥 Godrej グループは、不動産、家電、精密工学、消費財、家具、農業、セキュリティ、資材管理など、多岐に渡る事業を行っています。今回取り上げる、グループのうちの1社 Godrej Consumer Products (GCPL) は、ムンバイ証券取引所とインド国立証券取引所に上場しており、ヘアカラー、石鹼、殺虫剤といった消費財で、特にインドの低所得者層において高いシェアを占めています。

2015年度の連結売上は89,570百万ルピー(約1,500億円)で、EBITDAは16,240百万ルピー(約280億円)です。EBITDAは2010年度の6,530百万ルピーと比べて約2.5倍となっています。

GCPL の連結売上と EBITDA 2010年度と2015年度の比較

GCPL delivers a strong performance over the last 5 years



出所:GCPL アニュアルレポート

売上の拡大に大きく貢献しているのは、海外企業の買収です。GCPLは「3x3 strategy」というコンセプトを掲げており、3つの地域(アジア、アフリカ、ラテンアメリカ)と3つの商品領域(ヘアケア、ホームケア、パーソナルケア)に集中しプレゼンスを立てることを目標としています。よって、あくまで対象となるのは新興国における日用品市場で、自社が持つインドでの低所得者層向けの商品の開発力や、流通の構築力を他の新興国に移築していくことを目指しています。

2010年にはインドネシアの家庭用品(ホームケア、パーソナルケア)Megasari Makmur Groupを、同じく2010年にアルゼンチンのヘアカラー製品の Argencos および Issue を、2012年にはチリのヘアカラー製品・化粧品の Cosmetica を買収しています。売上に占める海外比率は、2010年度は34%だったところ、2015年度には47%まで上昇しています。なお、Godrejグループ全体としては、2020年までに2010年の売上を10倍にするという野心的な目標を掲げています。

GCPLの売上海外比率 2010年度と2015年度の比較



出所:GCPL アニュアルレポート

2. GCPLのアフリカにおける企業買収と商品構成

アフリカにおいては当初、インドで高いシェアを持つ得意のヘアカラー製品で南アフリカに参入を図ったとされています。ところが思うような結果を残せず、現地企業の買収に舵を切ります。最初に買収したのは南アフリカのヘアカラー製品メーカーRapodolで、2006年のことでした。白髪染めであるInectoと、白人女性を含めたおしゃれ染めであるRenewのブランドを持つこの企業によって、アフリカの14カ国での販路を確保します。その2年後にはKinkyというヘアエクステーションのメーカーを買収します。このように、アフリカにおけるGCPLの事業は、ヘア関連製品から始まりました。

GCPLはヘア関連製品を2つに大別しています。ひとつは「ドライヘアプロダクト」と呼ぶもので、いわゆるヘアエクステーション製品です。ヘアエクステーション製品は、編み込みを装着する、伝統的なアフリカ女性の髪型であるブレード(Braids)と、毛の束を装着しストレートやカーブのヘアスタイルを作るウェーブ(Weaves)およびその他(かつらや狭義のエクステーションなど)に分類できません。

ブレード(左)とウェーブ(右)



ヘア関連製品のもうひとつの商品群は、「ウェットヘアプロダクト」と呼んでいる、毛染め、おしやれ染めのヘアカラー製品およびヘアケア製品です。ヘアケア製品はさらに、リラクサー(髪をストレートにするためのクリーム)、メンテナンス(頭皮ケアや髪の質を保つローションやオイル、コンディショナー)、スタイリング、シャンプーの 4 つに分けられます。ロート製薬が新発売した商品群は、このヘアケア製品に該当します。

GDPL の計算によると、世界にはアフリカ系の女性向けヘア関連製品市場が 45 億ドル規模で存在し、そのうちアフリカが 23 億ドル、アメリカが 16 億ドルだそうです(差分はその他地域)。また、アフリカの 23 億ドルマーケットのうち、ヘアエクステンションを表すドライヘアプロダクト市場は 13 億ドル、ヘアカラー製品およびシャンプーなどヘアケア製品を表すウェットヘアプロダクト市場は 10 億ドル規模とされています。アフリカの中での中心的な市場は、南アフリカ、ナイジェリア、ケニアの 3 カ国と言われます。

さて、南アフリカの 2 社を買収したあと、GCPL はアフリカのヘアエクステンション市場で高いシェアを持つ Darling Group Holdings の株式 51%を取得します。Darling はアフリカの 11 カ国でヘアエクステンションを製造・販売する老舗企業で、Darling や Amigo といったブランドは各国で高いシェアを占めています。GCPL にとって、ヘアカラー製品は自社もインドで製造・販売している馴染みのある商品ですが、ヘアエクステンションはアフリカ系女性のみが使うもので新規な商品であったはず。それでも GCPL は、Darling の買収後、さらにヘアエクステンションメーカーの買収を加速させていきます。

GCPL の買収企業の一覧を次のページにまとめました。まずは南アフリカやモザンビークの Darling 系企業から始めたヘアエクステンション企業の買収は、今年 2016 年にはザンビアやセネガルの地場ヘアエクステンションメーカーへと広がっています。また、今年ケニアにおいても、Darling の製造・販売メーカーである Style Industries のモーリシャス法人の持分を、90%まで引き上げています。

Godrej Consumer Products のアフリカにおける買収企業一覧

年月	投資先企業	企業所在地	主要製品	取得株式・額
2006.9	Rapidol	南ア	ヘアカラー製品	
2008.4	Kinky	南ア	ヘアエクステンション	3,400 万ドル
2010.3	Tura	ナイジェリア	ソープ、ボディケア	
2011.6	Darling Group Holdings	(ガーナ)アフリカ 14 カ国	ヘアエクステンション	51%
2011.9	Darling South Africa	南ア	ヘアエクステンション	51%
2011.9	Charm Industries	ケニア	ヘアケア製品	51%
2011.10	Darling Mozambique	モザンビーク	ヘアエクステンション	51%
2014.10	Darling Group in Ghana	ガーナ	ヘアエクステンション	100%
2015.1	Frika Hair	南ア	ヘアエクステンション	100%
2015.2	Darling South Africa	南ア	ヘアエクステンション	90%に引き上げ
2015.2	Darling Mozambique	モザンビーク	ヘアエクステンション	90%に引き上げ
2016.2	Canon Chemicals	ケニア	洗剤、ベビー用品など	75%
2016.4	Strength of Nature	アメリカ	ヘアケア製品、ヘアカラー	
2016.4	DGH Phase Two Mauritius (Style Industries の投資会社)	モーリシャス (ケニア)	ヘアエクステンション	51%から 90%に引き上げ
2016.8	Hair Credentials Zambia	ザンビア	ヘアエクステンション	DGH を通じて 100%
2016.8	Weave Senegal	セネガル	ヘアエクステンション	DGH を通じて 51%
2016.12	Charm Industries	ケニア	ヘアケア製品	100%に引き上げ

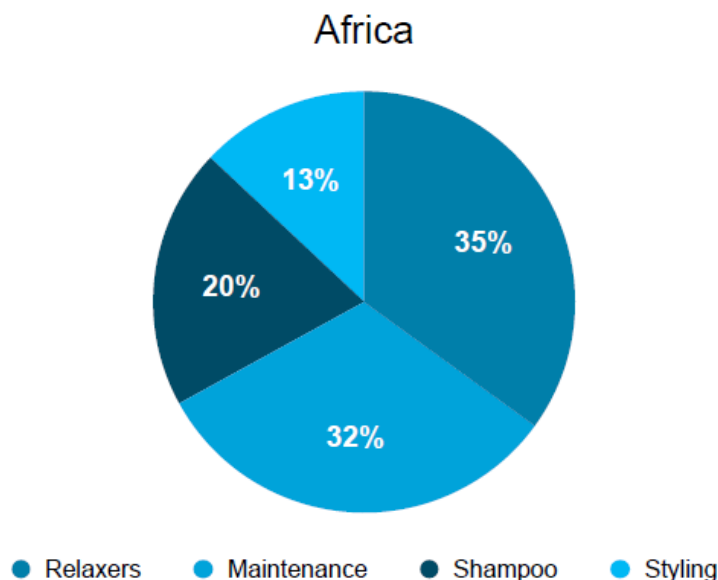
出所:GCPL 資料やニュース記事などから ABP まとめ

一方、ウェットヘアプロダクトの大型買収としては、2016 年 4 月に行ったアメリカの Strength of Nature が挙げられます。アフリカ系女性のヘア関連製品に関して、アメリカはアフリカの先行指標と言われます。Strength of Nature は、ウェットヘアプロダクトではアメリカ市場の 12%、髪をストレートにするヘアリラクサーに限っては 24%のシェアを持つため、アフリカ系女性向けウェットヘアプロダクトの先行企業と言えます。2015年度の売上高は9,500万ドル、売上のうち40%はアフリカやカリブのアメリカ以外によるもので、アフリカにおいては7カ国で販路を持っていました。2000年の創業以来、ユニリーバなどのヘアケアブランドの譲渡を受けながら製品ラインナップを拡充してきました。

また、今週のニュースで取り上げたように、ケニアにおいて、ALIYANAのブランドで知られる主としてサロン向け高級ヘアケア製品を製造・販売する **Chemical Industries** を完全子会社化しました。前ページの一覧表にあるように、同社については2011年に株式51%を取得していたものの、今年になって100%へと引き上げ完全子会社化しています。

GCPLによると、アフリカにおけるウェットヘアプロダクト市場の内訳は、リラクサーとメンテナンスが3割台で分け合っています。日本ではシャンプー、リンス、そしてスタイリング剤が中心かと思いますが、アフリカにおいては商品構造が違い、縮れ毛をストレートにし、またヘアエクステンションなどで傷ついた髪や頭皮をケアする製品にニーズがあります。また、ウェットヘアプロダクトにおいてもメインの市場は南アフリカ、ナイジェリア、ケニアで、この3カ国でアフリカ全市場の約40%を占めます。製品は輸入品と現地製造品が入り乱れており、強いブランドが存在するヘアエクステンションと違い、群雄割拠です。

アフリカにおけるヘアケア製品の市場割合



出所:GCPL 資料

Darling というトップブランドを買収したドライヘアプロダクト事業と、アフリカの先行指標となりうるアメリカの **Strength of Natural** を買収したウェットヘアプロダクト事業を中心に、これまで GDPL はアフリカ事業を進めてきました。GDPL が本来商品開発力に強みを持つパーソナルケア、ホームケ

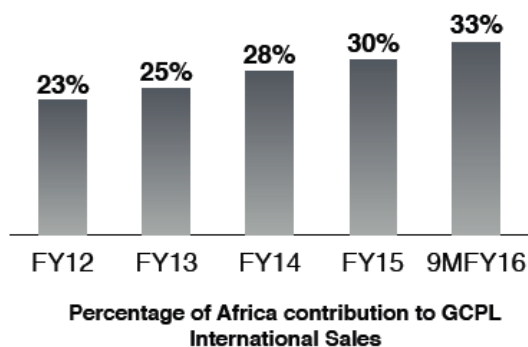
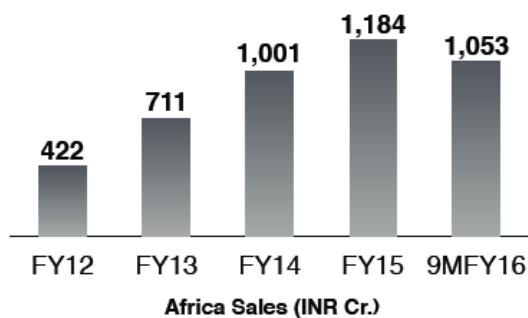
ア事業は、2010年にナイジェリアの Tuna を、今年ケニアの Canon Industries を買収したものの、まだ大きくはありません。さらにこれまでは、GDPL 自身の商品は流通させていません。

GDPL はおそらく、アフリカにおいてヘアエクステンションとヘアケア製品が、ブランドで選好され多様なチャンネルを押さえている様子から、ブランドと流通に対して資本投資するべくこの領域を選んできたのでしょう。ブランドとチャンネルを持つ現地企業をとにかく早く押さえるというのはアフリカにおける消費財の戦い方の王道です。今後はヘアエクステンションが持つサロンルートへヘアケア製品を販売していくなど、チャンネルでの重ね売りも行っていくことでしょう。また、ヘアケア製品と流通が重なるパーソナルケア、ホームケアプロダクトへの投資を強めていくことと思われます。さらには GCPL 自身の商品をその流通に乗せていくことでしょう。ホームケアプロダクトとしては、インドで成功した殺虫剤や、インドネシアの買収先 Megasari Makmur Group と共同開発した 1 枚 1 ルピーの蚊取りシートなどのアフリカ市場での販売を検討していると発表しています。

3. GDPL のアフリカ事業の業績

GDPL はアフリカにおいて、年々売上を伸ばし、さらには GDPL 全体に占める売上の割合も増えています。

GDPL のアフリカ売上推移と海外売上に占めるアフリカの比率



出所:GDPL 資料

2016年の Strength of Nature などの一連の買収前である 2015 年度会計において、GDPL の アフリカ売上は 11,840 百万ルピー (約 205 億円) の規模に達しています。2006 年の Rapidol の買収前はほぼ売上は皆無だったと思われるので、この 10 年で 200 億円規模の事業をアフリカで作りに上げたこととなります。2016 年の一連の買収の後には、この金額もさらに増えることでしょう。インドという特殊性が高い市場で始まった消費財メーカーとしては、限られたドメスティックな市場に向けてよりニーズを深耕した商品を展開していくことも考えられると思いますが、GDPL の場合は海外展開の道を選び、2010 年頃から本格化した海外企業の買収により 5 年後の 2015 年度には海外売上比率は 47% に達するまでになりました。その海外売上に占める、アフリカの売上比率は 30% となります。

GDPL は次々と買収を重ねているわけですが、Darling Groups Holdings や Strength of Nature はさておき、多くの地場企業の買収額はそれほど高いものではないと思われます。GDPL は買収額を公表していませんが、たとえばケニアで 75% を取得した Canon Industries の 2015 年の売上は 11 億ケニアシリング (約 11 億円)、今回 100% へと買い増した Charm Industries の 2015 年の売上は 185 万ドルに過ぎません。まだ小さく、企業としてはエクセレントではない段階であっても (あるからこそ)、ブランドと流通を持っている現地企業に対し他社に取られる前に過半数を取得するというのが Godrej の戦略だと思われます。

【今週のニュース 20 本】

※先週一週間でインターネットや雑誌で報道されたアフリカビジネスに関するニュースから、20 本を選んでお届けします。見出しの後の日付はニュースの発表日を掲載しており、ニュース発表とインターネット公表で時期がずれることから、発表日が先々週以前となることもあります。

※為替換算は、レート及び換算金額ともに有効数字 2 桁 (3 桁目以降切捨て) で記載をします。

- (1) 【アフリカ全域】コカ・コーラ社が AB インベブによる SAB ミラーの買収に伴い、アフリカ最大のボトラー CCBA の持分 54.5% を 31 億 5 千ドルで買い取り (12/21)

<http://af.reuters.com/article/investingNews/idAFKBN14A0JI>

The Coca-Cola Company (コカ・コーラ社) とビール世界最大手 AB インベブが、AB インベブがビール大手 SAB ミラー買収により取得したアフリカ最大のコカ・コーラボトラーである南アフリカ Coca-Cola Beverages Africa (CCBA) の株式 54.5% を、31 億 5,000 ドルでコカ・コーラ社が買い取り、新しいオーナーが見つかるまで保有することで合意した。

CCBA は、南アフリカ、ナミビア、ケニア、ウガンダ、タンザニア、エチオピア、モザンビーク、ガーナ、マイヨット、コモロ連合を管轄している。さらに、現在 CCBA のカバー国ではないザンビア、ジンバブエ、ボツワナ、スワジランド、レソトおよびエルサルバドル、ホンジュラスのボトリング事業に対して AB インベブが持つ権利も、コカ・コーラ社が購入することで合意した。

コカ・コーラ社は 2014 年に、SAB ミラー、Coca-Cola Sabco と共に CCBA を設立したが、SAB ミラーの株主に変更があった場合は SAB ミラーの持分をコカ・コーラ社が買いとる権利を有しており、今回それを実行した形。AB インベブは中南米でペプシコ社のボトラーであり、アフリカでの事業経験はない。

- (2) 【アフリカ全般】ロイヤル・ダッチ・シェルが資産売却の一環でアフリカの販売合弁会社 Vivo Energy の全持ち株を売却 (12/24)

http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM24H0U_U6A221C1NNE000/

<http://invezz.com/news/equities/24980-Shell-share-price-Group-offloads-Vivo-Energy-stake-for-250m>

資産売却を進める英蘭資源大手ロイヤル・ダッチ・シェルが、アフリカ 16 カ国でシェル製品を販売する Vivo Energy の持株全て (20%) を、世界最大の石油商社スイスのヴィトルへ売却する。売却額は 2 億 5000 万ドル。

Vivo Energy は 2011 年に、ロイヤル・ダッチ・シェルが 20%、ヴィトルと投資会社英 Helios Investment Partners が各 40%を出資して設立され、シェルブランドのガソリンや航空機燃料など石油製品や潤滑油の販売を行ってきた。

売却は 2017 年上半期に完了の見込み。Vivo Energy は今後もシェル製品の扱いを続ける。

(3) 【ケニア】インドの消費財企業 Godrej Consumer Products が、ケニアのヘアケア製品メーカー Charm Industries Ltd を完全子会社化(12/20)

<http://www.livemint.com/Companies/Hdf6swAxKPO2dZa2wBTRdL/Godrej-Consumer-raises-holding-to-100-in-Kenyas-Charm-Indu.html>

<http://www.businessdailyafrica.com/Indian-multinational-buys-Kenyan-Aliyana-hair-care-maker/539552-3494500-m614t/>

インドの消費財企業 Godrej Consumer Products Ltd (GCPL) が、51%を保有するケニアの Charm Industries の株式 49%を取得し、完全子会社化した。Charm Industries は GCPL が 51%を保有する Darling Group のグループ会社で、ヘアケア製品を製造・販売する。2015 年度の売上は 185 万ドル。

2016 年の GCPL によるケニア企業への投資はこれが 3 件目で、2 月にはパーソナルケア・ホームケアメーカーの Canon Chemicals の 75%を、3 月には Darling などのヘアエクステンション製品を製造・販売する Style Industries を保有するモーリシャス法人 DGH Phase Two Mauritius に対する持株比率を 51%から 90%まで引き上げるなど、複数の海外買収を行っている。

Godrej は 2000 年代からアフリカへの事業進出を開始し、2006 年にヘアカラーメーカーの Rapidol を買収、2008 年にヘアケア製品の Kinky を買収している。2010 年にはナイジェリアで人気のパーソナルケア用品の Tura を買収した。2011 年には地域で最大の買収案件の一つとなる Darling Group Holdings を買収している。

(4) 【南アフリカ】南アフリカの医療グループ Life Healthcare が、新株予約権無償割当により 107 億ランドの調達を計画(12/20)

<http://www.cnbc.com/news/southern-africa/2016/12/20/life-healthcare-rights-offer-private-hospital/>

<http://www.agencecofin.com/investissement/2012-43348-afrique-du-sud-life-healthcare-ouvre-30-de-son-capital-pour-reduire-sa-dette-et-soutenir-lacquisition-dun-nouvel-hopital>

南アフリカの病院グループ Life Healthcare が最大 107 億ランド(880 億円)の新株予約権の無償割当による増資を計画している。発行予定の新株は発行済み株式の最低でも 30%に上るといい、調達した資金の一部は同社の 85 億ランド(700 億円)の負債返済にあてられるという。

Life Healthcare は11月に、Alliance Medical の株式95%を最大104億ランド(860億円)で買収し、資金はBarclays とRand Merchant Bank からの融資により調達すると発表している。

南アフリカにおいては、急速に成長する黒人中間層が医療保険に加入し始めていることから、民間医療保険への需要が高まっている。しかし医療費への懸念から当局が調査を開始したことが、企業の関心を医療保険事業から遠ざける状況となっている。

Life Healthcare の株価は、0.63%上昇して31.87ランド(260円)となった。

※南アフリカ1ランド=8.3円(ブルームバーグ、12/22)

(5) 【ケニア】プライベートエクイティ Leapfrog がマジョリティを持つケニアの医薬品チェーン Goodlife Pharmacy が、同業の Dan Pharmacie を買収し店舗網拡大へ(12/18)

<http://www.businessdailyafrica.com/Goodlife-Pharmacy-takeover-plan/539552-3490874-h2ckucz/index.html>

ケニアの医薬品チェーン Goodlife Pharmacy による Dan Pharmacie の買収がケニア競争委員会によって承認された。Dan Pharmacie は2001年に創業で、ナイロビに4店舗を保有している。

2016年11月には Goodlife Pharmacy はその過半数株式をプライベートエクイティの Leapfrog Investments に買収されている。買収額は22億ケニアシリング(24億円)だった。

Goodlife Pharmacy は現在19店舗を展開しているが、今後ケニアとウガンダにさらに店舗を拡大していく計画であるとしている。

※1ケニアシリング=1.1円(ブルームバーグ、12/22)

(6) 【ルワンダ】ルワンダ政府とフォルクスワーゲンが、ルワンダで自動車組み立て工場を建設することで合意予定(12/21)

<http://www.theeastafrican.co.ke/business/German-carmaker-Volkswagen-to-build-plant-in-Rwanda/2560-3493888-14ukdnfz/index.html>

ルワンダ政府とフォルクスワーゲン南アフリカ法人が、ルワンダの首都キガリに自動車組み立て工場を建設することで合意する予定だ。ルワンダにとって初の自動車工場となる。同工場では Think Blue モデルが生産される。

プロジェクト予算やスケジュールは明らかにされていないが、本プロジェクトによって雇用創出と技術移転、さらに域内への輸出を通じた経済発展が期待されている。

フォルクスワーゲンは12月21日、ケニア・ナイロビの Thika にある Kenya Vehicle Manufactures (KVM)の工場、Polo Vivo の組立生産を開始している。東アフリカにおける組立生産では、ルワンダが2番目の事例となる。

(7) 【エチオピア】エチオピア政府が原子力発電所の導入を検討(12/16)

<http://www.agenceecofin.com/nucleaire/1612-43288-l-ethiopie-ambitionne-d-installer-1-200-mw-de-centrales-nucleaires-d-ici-2037>

エチオピア政府が自国内のエネルギー供給能力強化の為、今後の電力拡大マスタープランの中で300MWから1200MWの発電容量を持つ原子力発電所の導入について検討を行っていることを、エチオピア電力公社が発表した。同国では6年前にオロミア州のBale地域にウラニウムの貯蔵が確認されている。

エチオピアは2012年以降、2037年までに37GWの発電容量を達成することを目的とした電力拡大プランを開始している。この目標値のうち80%は水力発電によるものとなる予定。計画全体に対して25年間の期間と投資額1,560億ドルが必要とされている。

(8) 【エチオピア】エチオピアで15億ユーロを投じた水力発電所が開所し、合計発電容量が倍増(12/19)

<http://africa.tvcnews.tv/2016/12/19/ethiopia-completes-1-5-billion-euro-power-plant-2/>

エチオピアで15億ユーロを投じて同国南部のOmo川沿いに建設された水力発電所が稼働を開始した。1,870MWの発電容量を持つGilgel Gibe 3ダムで、これによりエチオピアの合計発電容量は4,238MWとなりほぼ倍増した。

同発電所は、イタリアの建設会社Salini Impregilo SpAが建設した。エチオピア国内の製造業向けに供給する他、近隣諸国への電力輸出が期待されている。

同ダムの建設は2006年に開始されたが、資金面で問題が生じたため一部遅延が生じていた。最終的に、中国輸出入銀行が費用の60%を融資として拠出し、残りを政府がカバーすることで決着した。

エチオピア政府は2020年までの5カ年計画において、予算41億ドルで建設中の6,000MWの発電容量を持つグランドルネッサンスダムを含め、水力・風力・地熱による合計17,346MWの発電量を実現したいとしている。また、2016年3月にはOmo川に別の2,000MWの水力発電ダムを建設する計画を明らかにしている。

エチオピアはすでにケニアやスーダン、ジブチに電力輸出をしており、タンザニア、ルワンダ、南スーダン、イエメンとも輸出契約を締結している。

(9) 【南アフリカ】アルセロールミタルがEvrz Highveld Steel & Vanadiumの子会社HSMに重構造用鋼材原料厚板等を供給することで合意(12/22)

<http://www.engineeringnews.co.za/article/amsa-highveld-concludes-manufacturing-agreement-2016-12-22>

鉄鋼メーカー、アルセロールミタル南アフリカ法人 (AMSA) が、Evraz Highveld Steel & Vanadium とその子会社 HSM との間で、AMSA がブルームや厚板を HSM に供給する契約を締結した。HSM はそれらを重構造用鋼材に加工する。

Highveld はこれにより重構造用鋼材製造を再開し、南アフリカ国内への製品の供給を再開する。本契約は、第 1 期として 2 年間実施し、その後さらに 1 年間の延長オプションも含まれている。

AMSA は HSM の事業および土地または株式を買収するオプションを持つ。

(10)【アフリカ全般、ザンビア、コンゴ民】銅価格が再上昇し、2015 年 6 月以来となる最高値を記録(12/20)

<http://www.jeunefrique.com/mag/382558/economie/matieres-premieres-cuivre-reprend-couleurs/>

銅の価格が過去 3 か月上昇を続け、11 月 29 日時点で 1 トンあたり 5,935 ドルに至った。9 月時点の価格より 25% 増となり、2015 年 6 月以降最高値となった。米国の次期大統領としてドナルド・トランプが選ばれたことで、米国における大規模インフラ投資とそれによる銅消費の上昇への期待が高まったためとされる。

仏ボルドー大学の Yves Jégourel 教授によると、米国の銅需要は世界の 6% 程度に過ぎないため、価格上昇は投機的な動きによることは明らかであり、今後数週間で楽観的な動向は是正されるだろうとしている。

一方スウェーデンの Lulea 工科大学の Magnus Ericsson 教授によると、経済発展に必要な銅を十分に保有していない中国の銅需要を過小評価していると同時に、ザンビアとコンゴ民主共和国の Glencore 鉱床の開発が停止しており、さらにはペルーを初めとする銅鉱山での生産に問題が発生していることを挙げ、銅の価格は 2016 年 1 月に底を打ったとしている。

また、スイスの Glencore 社や英・豪の Rio Tinto は、2017 年、2018 年に銅市場は短期的に回復するとしている。銅は経済開発のより初期のフェーズに需要があるものであるため、鉄よりは地政学的リスクを受けにくいだろうとしている。

銅の価格は、2010 年及び 2014 年のレベルから比べると依然として低いものの、トン当たり 6,000 ～ 10,000 ドルの間であれば、アフリカの現地通貨が対ドルで軒並み安値を記録していることから、中国企業にとっては好機と見える。

アフリカ大陸において、特にザンビアとコンゴ民主共和国は銅生産がさかんで、世界の生産量の 11.5% を占めている。

(11)【南アフリカ】南アフリカ国営通信会社 Telkom が、子会社 2 社に計 11 億ランドの資金支援

～(12/19)

http://www.engineeringnews.co.za/article/telkom-to-bailout-two-struggling-subsi-diar-ies-for-r11bn-2016-12-19/rep_id:4136

南アフリカ国営の通信大手 Telkom は、2015 年に 26 億ランド(210 億円)で買収した子会社の Business Connexion (BCX) に 10 億ランド(82 億円)の資金援助を実施する。BCX は Telkom が 2015 年に、競争裁判所、監督機関 (TPR) およびヨハネスブルク証券取引所の承認を得て買収したばかりで、Telkom の業績回復と成長の源泉となり、サービスの改善と強化が図られることが期待されていた。

さらに Telkom は、デジタルゲームのベンチャー企業を傘下に有する子会社 Acajou Investments に、1 億 5,500 万ランド(12 億円)の資金援助を実施する。Acajou Investments は Digital Gaming League Holdings と会社名を変更する予定。

この子会社への資金援助後、会社法第四条に則って、Telkom 社がソルベンシーテスト及び流動性テストの条件を引き続き満たしており今回の資金援助の条件が「公正かつ合理的」であると Telkom 社の取締役会が確認した。

※1 南アフリカランド = 8.2 円(ブルームバーグ、12/19)

(12)【モロッコ】イスラム開発銀行と複数のモロッコ政府がモロッコ高速鉄道 TGV に 9 億 8,000 万ディルハムを融資(12/19)

<http://www.agencecofin.com/investissement/1912-43314-la-banque-islamique-de-developpement-finance-le-projet-du-tgv-marocain-a-hauteur-de-101-millions>

イスラム開発銀行 (IDB) とモロッコ政府関係当局は、モロッコ内の高速鉄道 (TGV) 建設に 9 億 8,000 万ディルハム(100 億円)を投じることで合意した。

今回 IDB と調印したのは、モロッコ国営鉄道 (ONCF) 並びに経済財務省で、Casablanca、Kenitra、そして Tanger を結ぶ鉄道建設向けの融資を対象としている。

この契約は、Tanger では既存の駅舎を 10,600m² へ拡張、Kenitra は 13,000m²、Casablanca では 10,000m² の駅舎をそれぞれ新設する予定。これらの駅舎は、店舗や商業設備を併設する予定。

ONCF によると、モロッコにおける最初の高速鉄道建設の進捗率は 85% で、2018 年にサービス開始を予定している。

※1 ディルハム = 11 円(ブルームバーグ、12/19)

(13)【トーゴ】アフリカ開発銀行を始めとする機関が西アフリカ地域の回廊整備計画のうち、トーゴ

国内の 30km 区間に融資 (12/21)

<http://www.jeunefrique.com/385818/economie/corridor-abidjan-lagos-1871-millions-de-dollars-troncon-togo/>

アフリカ開発銀行、イスラム開発銀行、EU、西アフリカ開発銀行 (BOAD)、地球環境ファシリティ (GEF)、西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA)、トーゴ政府は、アビジャンーラゴス回廊整備計画のうち、トーゴ国内の Avépozo の Aného 30km 区間に対して、1 億 8,710 万ドルを協調融資することを決定した。このうち、アフリカ開発銀行が、4,080 万ドルを融資する。

完工は 2020 年を見込み、完成後はロメとベナンのコトヌーの 150km が現在の 11 時間から 5 時間で接続されるようになる見込み。

(14)【ケニア】モンバサ港で初のクルーズ船向けターミナルの建設が開始へ (12/17)

<http://af.reuters.com/article/topNews/idAFKBN14605S?feedType=RSS&feedName=topNews>

ケニア政府は、貴重な外貨収入源となる観光振興を目指し、モンバサ港にクルーズ船向けであるターミナルの建設に着手した。建設費は 340 万ドルで、ケニア政府と Trade Mark East Africa が共同で融資する。年間 14 万人の追加観光客と 5,200 万ドルの収入を見込む。

現在は、モンバサに寄港するクルーズ船は貨物ターミナルを活用しており、6000 人の観光客が訪れている。

(15)【セネガル】フランス政府がセネガルの首都と新空港をつなぐ高速鉄道事業に 1 億 9,500 万ユーロを融資へ (12/21)

<http://www.agenceecofin.com/investissement/2112-43372-la-france-finance-le-projet-du-t-rain-express-de-dakar-a-hauteur-de-195-millions-d-euros>

セネガルの財務省とフランスの開発庁 (AFD) は、ダカールと Blaise Diagne 新国際空港を結ぶ地域高速鉄道 (TER) の建設事業に 1 億 9,500 万ユーロを上限とする貸付契約で合意した。

TER は約 300 万人のダカール住人が苛む交通渋滞に対して解決策を提供する予定で、セネガルの開発計画 Plan Sénégal Emergent 2035 で計画された。

セネガル政府は時速 160 キロで 400 人の乗客を輸送できる汎用性の高いディーゼル電気ハイブリッド車両 Coradia を 15 編成分注している。鉄道建設では、仏の Eiffage が 45%、その他はトルコの YAPI Merkezi Group とセネガルの ESC で構成するコンソーシアムという構成で、3 億 7,350 万ユーロで受注した。

信号通信システム、電力供給などの関連契約は、同じくフランス企業の Thales と Engie が 2 億 2,500 万ユーロで受注している。同様に、フランスの国営鉄道会社 SNCF とパリ交通公団 RATP も

最近、鉄道網の運用保守のためにセネガルと契約を締結した。

(16)【東アフリカ】穀物及び豆取引市場 G-soko が、オープンから 2 ヶ月で、30 万ドルが取引される(12/17)

<http://www.theeastafrican.co.ke/Rwanda/Business/1433224-3490006-80ctjm/index.html>

2016 年 10 月に、東アフリカのメイズ及び豆取引における、収穫後ルートの特明確化、中間業者の排除、農家の収入向上を目的として設立された、取引市場 G-soko で、開始 2 ヶ月で 30 万ドルが取引された。G-soko は許認可を受けた倉庫を通じてオンラインで 1,120 重量トン、オフラインで 50,360 重量トンを開く。

FoodTrade ESA の専門家は、小規模な農家が整備された取引市場に参加する為には、農家がグループとして集まる事で商品作物が大手取引事業者を引き付けるだけの質と量を伴うと認識される必要があり、そのために村落の商品作物集約設備としての認定倉庫に対するインフラ投資が重要である、と指摘している。

(17)【ケニア】ケニアのウフル大統領が、政府省庁に対して現地組み立ての車両を購入するように促す(12/22)

<http://www.businessdailyafrica.com/Corporate-News/Uhuru-orders-State-agencies-to-buy-locally-made-vehicles/539550-3494736-15b2rywz/index.html>

ケニアの Uhuru 大統領が、政府省庁に対して現地組み立ての車両を購入するように促した。現在ケニア国内の新車の年間発売台数のうち、25%が政府による公共調達向けである。

ケニアでは、現在総合自動車産業化政策を進めており、国内での組立生産を促進し、市場の大部分を占めている輸入中古車の削減を目指している。

ケニアで今週、ドイツのフォルクスワーゲンが稼働を開始し、年間 1000 台から組立生産を始めたが、これによりフォルクスワーゲンは政策の恩恵を受け、300 台の発注がコミットされたという。

完全ノックダウン方式の車両は、25%の関税及び 20%の物品税が免除となる。

(18)【ケニア、ルワンダ】スーパーマーケットのナクマツト がルワンダに 3 店舗目をオープン(12/18)

<http://www.businessdailyafrica.com/Nakumatt-opens-third-Rwanda-outlet-in-EAC-expansion-plan-/1248928-3490814-s978xw/index.html>

スーパーマーケットチェーンの Nakumatt は、ルワンダに 3 店舗目となる、Nakumatt Kagugu Supermarket をオープンした。ケニアの 47 店舗、タンザニアの 5 店舗、ウガンダの 9 店舗を合わせて、東アフリカに 64 店舗を展開することになる。

今後は、ルワンダのアラビカコーヒー、マカダミアオイル、ホットチリソース、ハチミツ等を Nakumatt の商品としてケニア、ウガンダ、タンザニア市場で流通することも視野に入れる。

ルワンダは Doing Business で 56 位を獲得し、また、工業、サービス、農業セクターの成長により 2016 年第 1 四半期の経済成長率 7.3%を達成しており、海外投資が相次いでいる。

(19)【東アフリカ】東アフリカ共同体が、2017 年 3 月までに Tripartite Free Trade Area (TFTA) を批准する見込み(12/20)

<http://www.theeastafrican.co.ke/business/East-African-countries-to-ratify-TFTA-agreement-before-March/2560-3493016-as7c5xz/index.html>

東アフリカ共同体(EAC)が、2017 年 3 月までに Tripartite Free Trade Area (TFTA)に批准する見込であることが明らかになった。TFTA の加盟交渉を進めているのは、EAC、東南部アフリカ経済共同体(Comesa)、南部アフリカ開発共同体(SADC)26 カ国。2017 年 6 月の TFTA 批准期限を守れなくなる懸念があるものの、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、タンザニアなど 18 カ国においては、TFTA 協定に調印したものの、まだどの国も批准はしていない状況である。発効には加盟国 3 分の 2 による批准が必要。

EAC 諸国は、TFTA の締結により、南アフリカ、エジプト、エチオピア、エリトリアといった近隣市場への進出強化を目指す。

(20)【セネガル】セネガル政府が同国西部に農産品加工工場の建設を計画(12/22)

<http://www.agencecofin.com/industrie/2212-43418-senegal-une-usine-agroalimentaire-s-est-installee-dans-la-commune-de-sandiara>

セネガル政府は、同国西部の Sandiara の工業地区に総額 5 億 1,400 万 CFA フラン(9,200 万円)の農産品加工工場を開設する。面積 2,500 平方メートルで、穀物加工やピーナッツペースト製造、フルーツジュースや乳製品の製造を行う。

工場の操業開始は 2017 年を予定しており、50 人の雇用を創出する。特に、セネガル内の農業食料品分野に従事する 1 万 6,000 人の女性に効用をもたらすと期待されている。Sandiara の工業地区は、2014 年に 50 ヘクタール広さを確保して造成された。

※1CFA フラン=0.18 円(ブルームバーグ、12/22)

週刊アフリカビジネス

2016年12月26日 第326号

発行者:アフリカビジネスパートナーズ

問合せメールアドレス:weekly@abp.co.jp

Website:<http://abp.co.jp>